

地域とつながり「いのち」をつなぐ人

地域の方と一緒に



花壇とビオトープに花植え！



6月12日(金)、ビオトープ委員会の地域の先生、高橋博さん辻耕一さん高橋勉さんと午前中に5・6年生が、小林るみさん高橋麻美さんと午後2年生がベゴニアやペチュニア、マリーゴールドなど色とりどりの花をきれいに植えました。花いっぱい学校に、しっかり世話をし大切な生命をみんなでつないでいきます。

7月の主な予定

- 1日(水)安全の日 2日(木)クラブ ALT 6年市民プール練習 P常任委員会 4日(土)4年ビオトープ作業・環境講座
- 9日(木)市水泳競技大会 10日(金)みなみおはなしかご 集金口座振替日 12日(日)3年PTA学年行事
- 16日(木)学校保健委員会 23日(木)通知表配付・学級懇談会 24日(金)1学期終業式 学校評価会議
- 25日(土)夏季休業~8/19 3年ビオトープ作業 31日(木)プール開放開始

伝統をつなぐ！



南部ふちあわせ太鼓5年生デビュー！

■5月24日に「南部体協40回記念球技大会」で5年生20名が南部ふちあわせ太鼓を、披露しました。堂々たる演奏で、グリバー寒河江内一帯に太鼓の音が響き渡りました。6年生から引き継いだ南部太鼓、すばらしいデビューでした。

■6月10日には朝会で全校生に披露。先輩の6年生からのアドバイスも含め、下級生からもすばらしい感想をもらいました。



田植え・畑作業をしました！

5月25日に、田んぼの先生今井伝吉さんのご指導のもと、5年生が田植えをしました。そして畑では、今井義明さんのご指導のもと、2年生がつるり芋とさつまいもの苗を植えました。「泥まみれも気持ちいい！」「おいしく収穫できますように！」とそれぞれが思いを込めて作業しました。

南部小学校通信



南部っ子

発行日 平成27年6月17日
発行所 寒河江市立南部小学校

学校教育目標

=学び確かに 心豊かに 体健やかに=

PTA主催 親睦学級学習会より ~SNS等のトラブルから子どもを守るために~

5月30日(土)、相撲大会「南部場所」に引き続き午後からは、PTA主催「親睦学級第一部」が行われ、保護者・教職員83名が学習会に参加しました。「第二部懇親会」も100名を超える参加で盛会となりました。

■親睦学級第一部(教育講演会)

講師：村山教育事務所指導課青少年指導担当 須田 稔 様
株式会社ドコモ東北山形支店 曾我 亨宏様
同上 牛田 裕人様
ドコモショップ寒河江店 佐竹 利広様

内容：『SNS等のトラブルから子どもを守るために』

- 発達段階に応じたリテラシーを身につけることが必要
- ネットトラブルの例

- 1) 短文による誤解・トラブル → ちょっとしたきっかけで被害者や加害者になり得る・深く考えないで暴力的な言葉を書き込む・短時間に深刻化しやすい・昼夜のリズム崩れる
 - 2) 誘い出し → 「なりすまし」「子どもの心理につけこむ手口」(SNS・通信ゲーム等)
 - 3) 軽率な情報発信 → 一度ネットにアップしたら消えない・情報拡散・個人情報のリスク・炎上・誹謗中傷的
- 子どもをトラブルから守るために周囲の大人ができることは？
- *保護者の責務・・・「青少年インターネット環境整備法第6条」保護者は子どもを守る責任がある
- 1) フィルタリング(年齢判定サービス、利用者情報確認・登録、メール受信拒否設定)
 - 2) 子どもの知識や能力に応じてネットを段階的に利用させる
→ 簡単に携帯やスマホ・通信ゲーム機器等を与えることは危険が潜む、オンラインゲームにも注意が必要
 - 3) 節度ある利用 → 睡眠不足や学習時間の減少は、子どもの健全発達を阻害する恐れ有り
 - 4) 周囲に迷惑をかけない → 親子でルールを決め、持たせる場合は「責任」も持たせるようにしよう！

物を与えることと約束と・・・
子育ての時に、よく子どもにも物を買ったりして与えることがあります。欲しい物を手にすると、子どもは喜びます。一方で、「子どもをだめにするのは、欲しい物を全て与えて、かまわないうちでいっしょに」とも言われてきました。その背景にあるものを考えてみたいと思います。

例えば、自転車。まだ乗れないので補助輪がついている物を買う。当然勝手に道路に出ることを禁ずる約束が生まれます。例えば通信型ゲーム機器、当然使う時間や場所・貸し借りなどの約束が生まれます。仮に野放しだとすると、子を養う親としての責務はどうなるのでしょうか。同じように、新しい自転車・子ども用携帯やスマホ、キックボード、一輪車等はどうでしょう。そこには、保護者として道路交通法や迷惑防止条例・ネット環境整備法等を守って使用させることの義務が生じます。保護者と子どもとの間に約束が生じるのです。

子どもにとって有意義な物となるためにも、「物を「買ってあげよう」と、親子の約束は「買ってあげよう」ことを再確認し合いたいと思います。

【校長 武田幸一】

今年度のキーワード「互いにつながって高め合う」

校内相撲大会

学び続ける人

第1回授業研究会

～つながり高め合い、新たな自分に出会う授業づくり～



最後まであきらめない!

真剣勝負に感動!!



5月30日(土)快晴の空の下、グラウンドいっぱいになるほどの保護者や地域のみなさん、そして仲間からの盛大な応援に応えようと、一人一人が最後まで必死に取り組む姿がとても印象的でした。そこには、勝ち負けでは量れないこれまでの努力、家族からの励まし、先輩からつないだ伝統など一人一人の心に存在する様々な思いが、勝って喜ぶ姿や、あちこちで目にした「悔し涙」として表れていました。そして6年生を中心とする本土表での役力士や行司・呼び出しのみなさんも自分に託された責任を精一杯の努力で全うしました。南部っ子一人一人がそれぞれの決意で真剣に臨んだ相撲大会。その過程の中で、仲間や先生、そして地域の人や家族と心を互いにつながり合って努力し成し遂げたことにたくさんの感動を見ている人たちに与えてくれました。

新体力テスト

6月10日(水)新体力テストを行いました。6年生が下級生の面倒をみながら記録の補助を行いました。昨年度はソフトボール投げと50m走に課題が見えました。今年も結果を分析し、個々の体力向上に向けて取り組んでいきたいと思ひます。



5月22日(金)は、今年度最初の授業研究会でした。2年1組では、数え棒の操作を大切に、繰り上がりのある計算を唱え合うことによりかかわり合いながら学ぶことを大切にした授業、6年1組では、既習事項を基にかかわり合いながら説明力を高めることをめざした授業に取り組みました。

今後に向けて

- ・アクティブラーニングという面からの研究を積み上げていく。
- ・「何が分かったか」よりも「何ができるようになったか」「どう変わったか」が大事。
- ・「教えるところ」と「考えさせるところ」の明確な判断、十分な教材研究が必要。
- ・家庭学習に活かせる授業を(習熟までしっかり)心がけたい。

ESD・AL授業(5・6月)

ESD (Education for Sustainable Development) とは 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。

AL (Active learning) とは、自ら課題を探究する能動的学習。いずれも社会を生き抜くための大切な力です



「クローバー学習・自学」(朝の活動)で自分で課題を見つけ、真剣に取り組む2年生・5年生。

3年生はモンシロチョウの卵、幼虫、さなぎ、成虫にかえて飛んでいくまで愛着をもって観察。

1年生、今度は自分たちでめあてをもって学校たんけん。

絵を分析しながら思考力判断力を培う。6年生「絵を読む」



「事故を防ぐには」をテーマにインタビューして課題解決する4年生。